

5. エンターテイメントに関する分析

5. エンターテイメントに関する分析

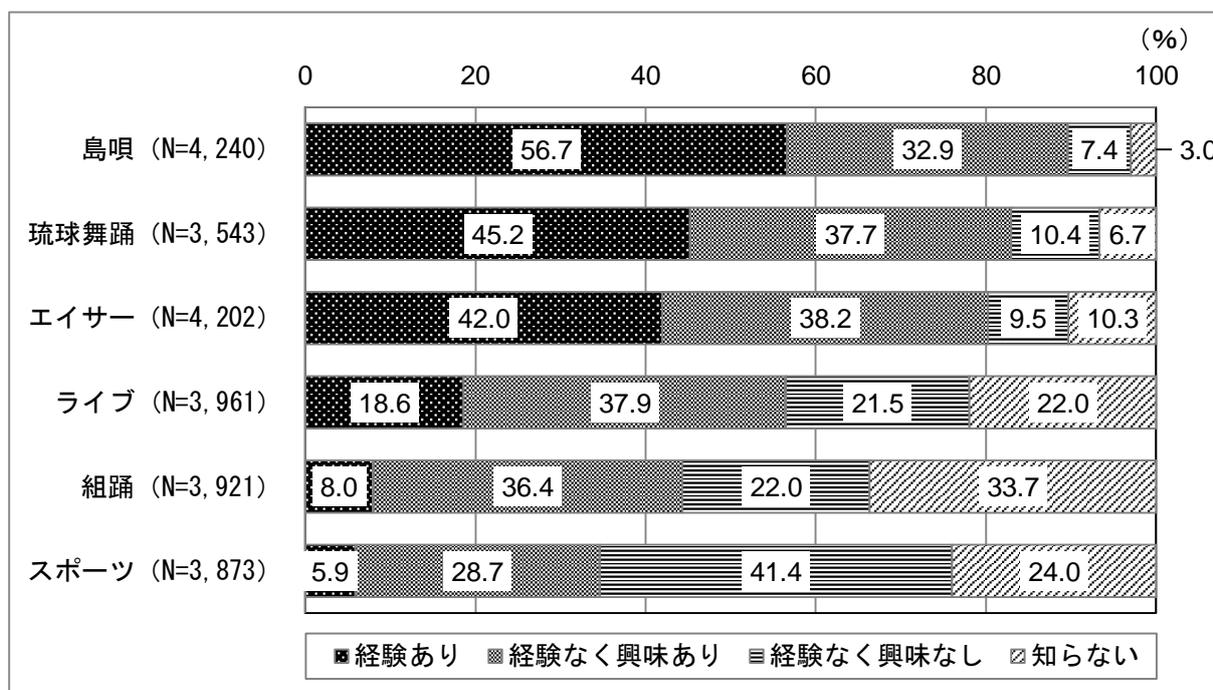
5-1. 経験率・認知率・体験意向

エンターテイメントの“経験率”（図表 5-1 の“経験あり”）を見ると「島唄」が 56.7%で最も高く、次いで「琉球舞踊」45.2%、「エイサー」42.0%となった。

“認知率”（図表 5-1 の“知らない”を除いたもの）が最も高いのは、「島唄」で 97.0%となり、次いで「琉球舞踊」93.3%となった。一方で、“認知率”が低いのは、「組踊」で 66.3%であった。

“体験意向（図表 5-1 の“経験なく興味あり”）を見ると、最も高いのは「エイサー」で 38.2%となっている。「スポーツ」を除く全ての項目で 3 割を超えており、経験率の低い「ライブ」でも 37.9%、「組踊」で 36.4%となった。

図表 5-1 エンターテイメントの経験率・認知率・体験意向

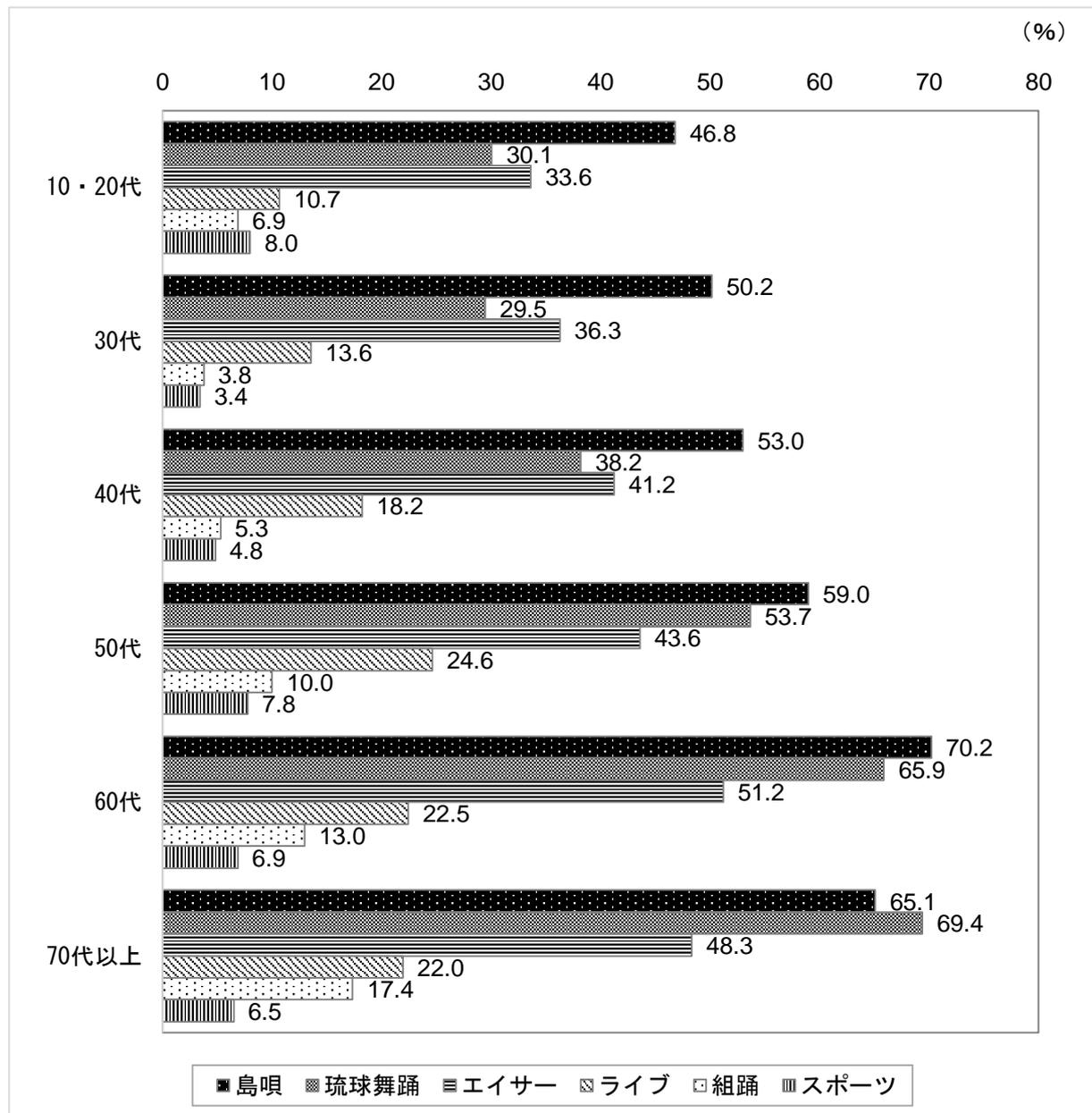


【推計方法】

- 6月・8月・11月・2月の単純集計結果から、“無回答”を除いた総数に対する構成比とした。

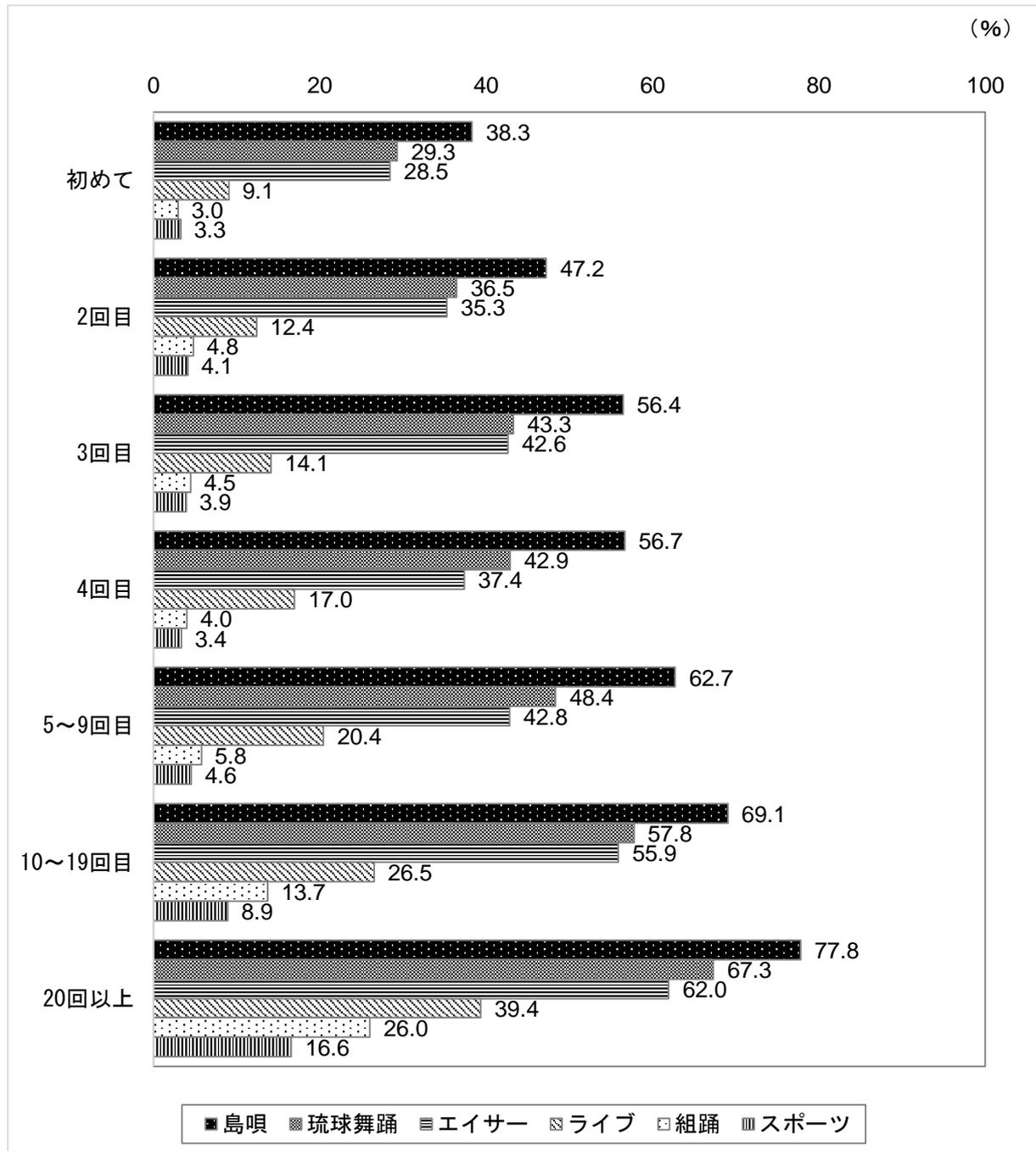
年代別に見ると、年代とともに“経験率”（図表 5-1 の“経験あり”）が高まる傾向にある。「10・20代」において“経験率”の低い『ライブ』、『組踊』は、「70代以上」ではそれぞれ 22.0%、17.4% となっている。

図表 5-2 エンターテイメントの経験率（年代別）



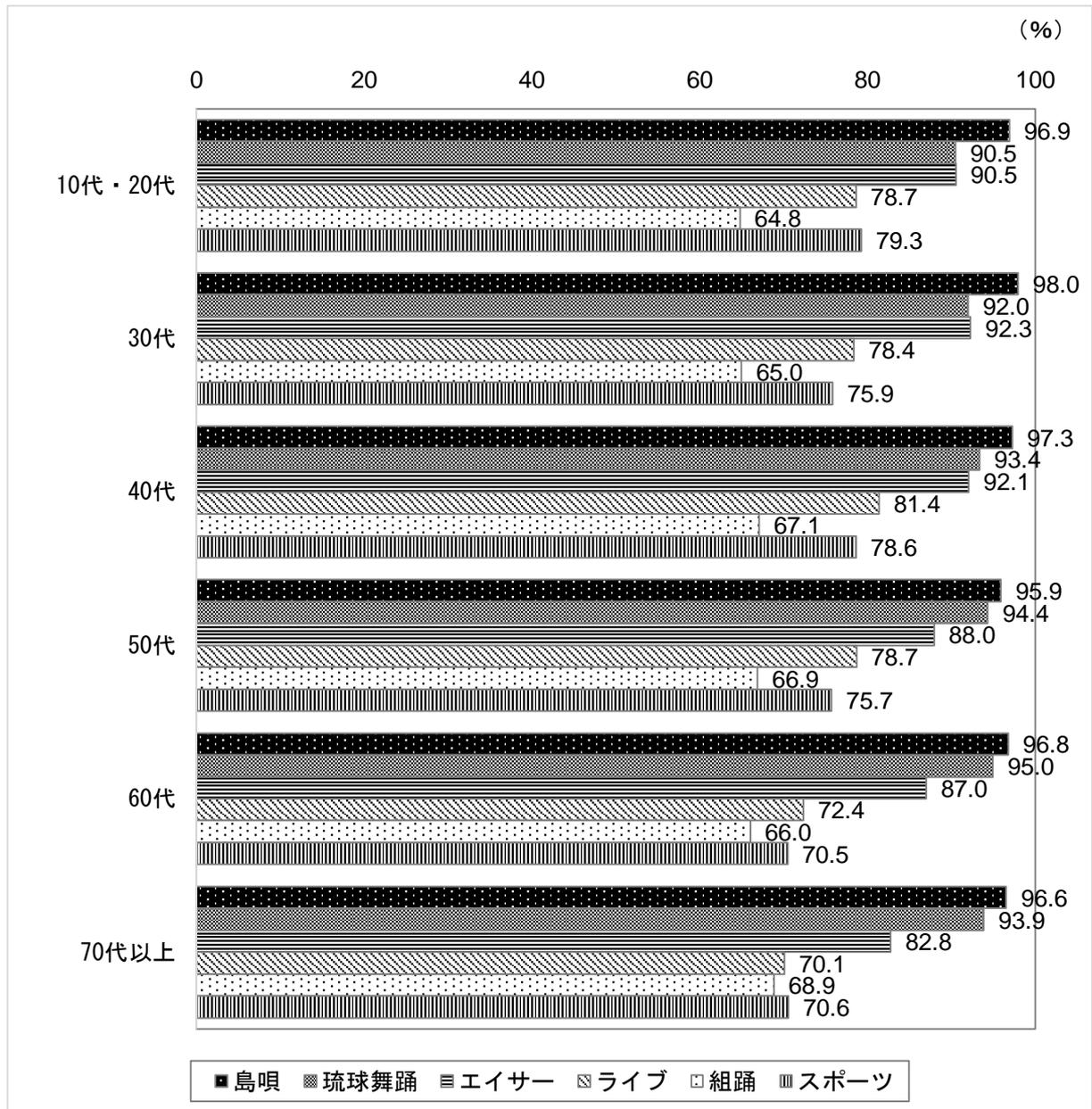
来訪回数別に見ると、全ての項目で来訪回数が多いほど“経験率”（図表 5-1 の“経験あり”）が高くなる傾向にある。『初めて』では、「島唄」が 38.3%、「琉球舞踊」が 29.3%、「エイサー」が 28.5%となっており、初来訪者が最初に経験する代表的なエンターテイメントとなっている。

図表 5-3 エンターテイメントの経験率（来訪回数別）



年代別に“認知率”（図表 5-1 の“知らない”を除いたもの）を見ると、『島唄』、『琉球舞踊』は全ての年代で9割を超えた。一方で、『組踊』は全ての年代で7割を超えることはなく、他のエンターテインメントと比較して低い“認知率”となっている。

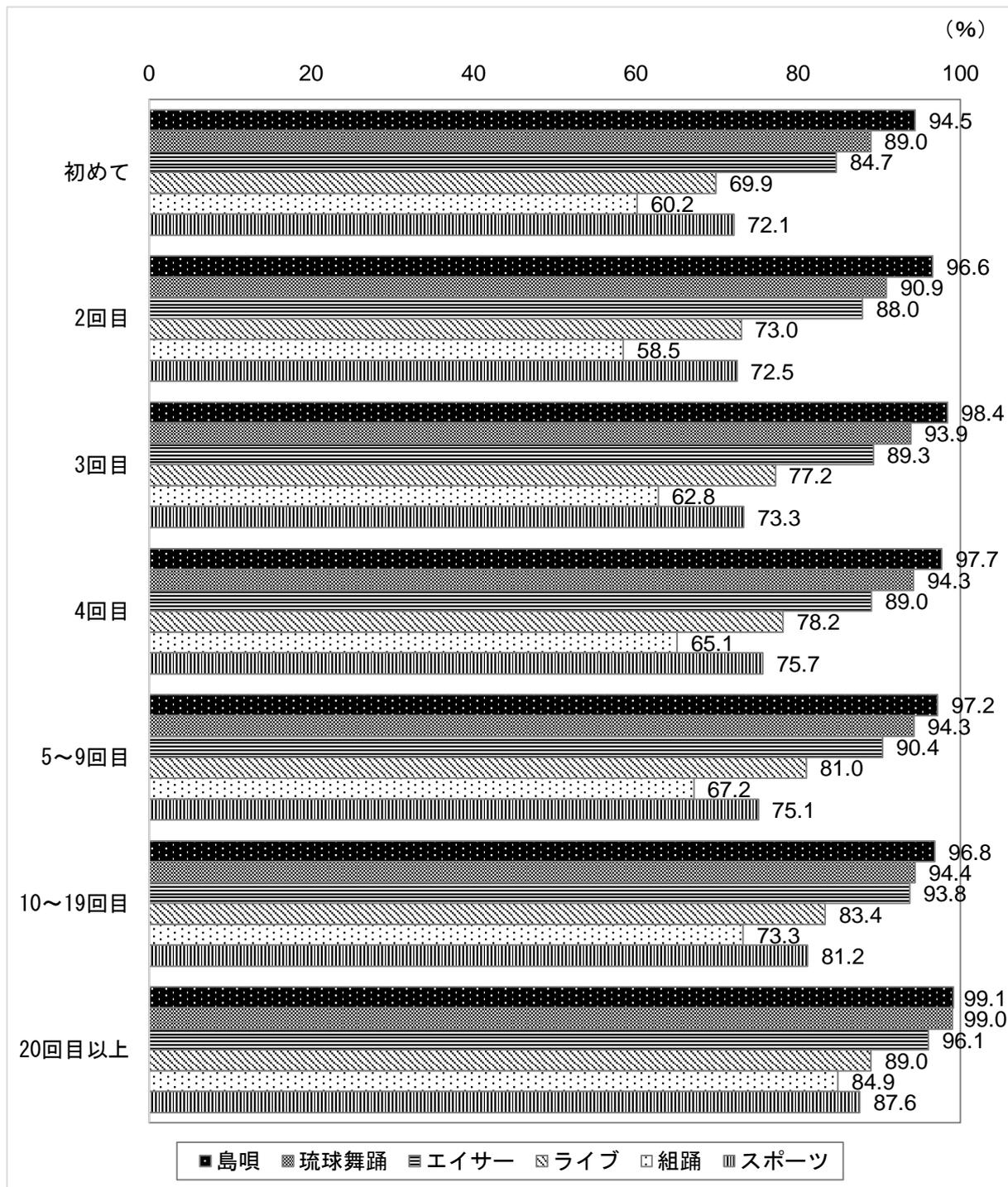
図表 5-4 エンターテインメントの認知率（年代別）



来訪回数別に“認知率”（図表 5-1 の“知らない”を除いたもの）を見ると、『島唄』、『琉球舞踊』、『エイサー』は、来訪回数が「初めて」でも8割以上あり、高い“認知率”となっている。

一方、来訪経験が増えるにつれて、全てのエンターテイメントで“認知率”は高まっているものの、『組踊』は他の項目と比較して“認知率”が低い傾向にある。

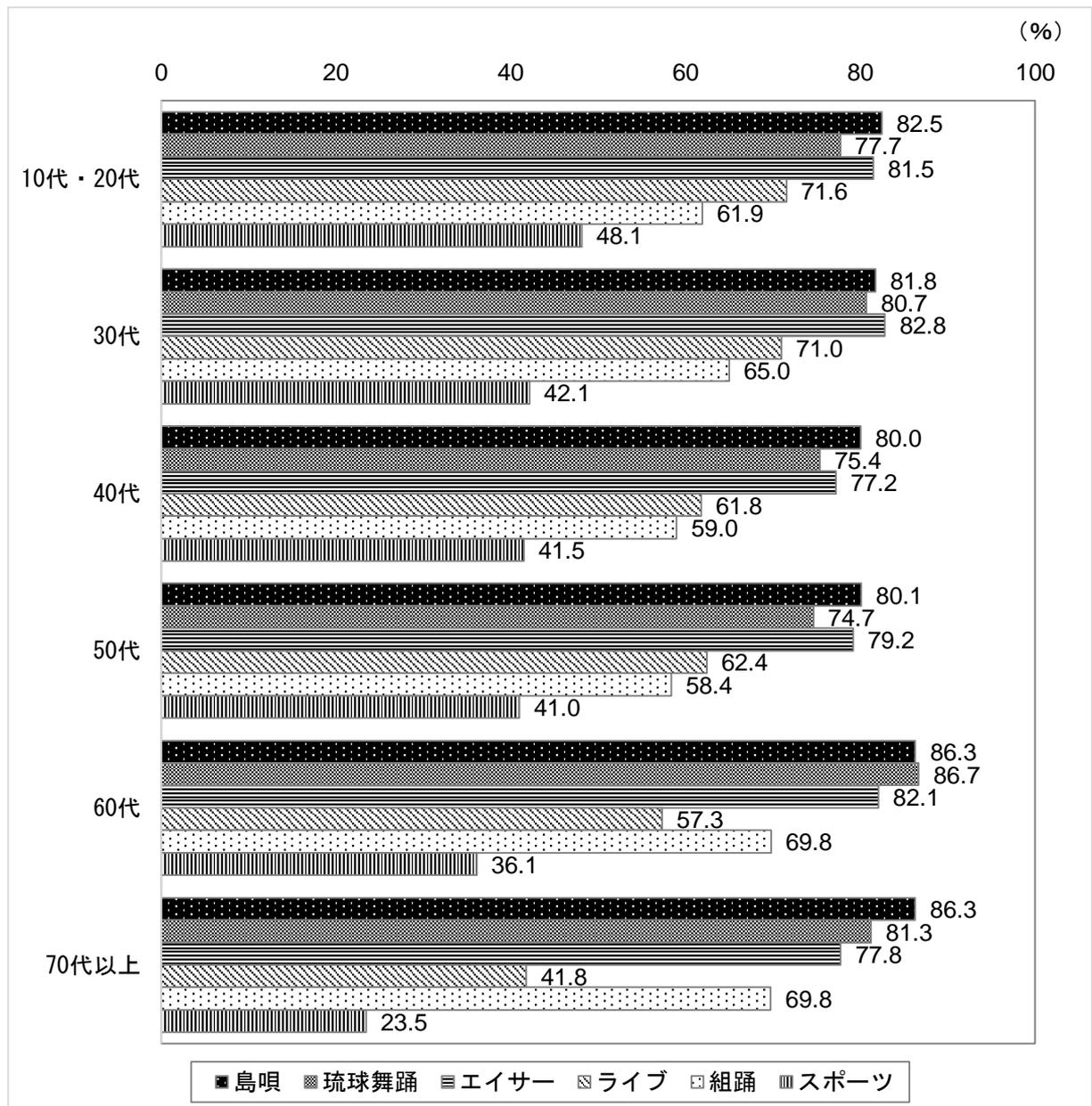
図表 5-5 エンターテイメントの認知率（来訪回数別）



エンターテイメントについて、“経験なし”（図表 5-1 の“経験なく興味あり”、“経験なく興味なし”）と回答した旅行者の中で、年代別にどの程度“体験意向”（図表 5-1 の“経験なく興味あり”）があるのかを整理したものが図表 5-6 である。

『島唄』、『琉球舞踊』、『エイサー』は全ての年代において、“体験意向”が高くなっている。『ライブ』、『スポーツ』は、若年層ほど“体験意向”が高い。『組踊』は、「60代」、「70代以上」において“体験意向”が高く、約7割となっている。

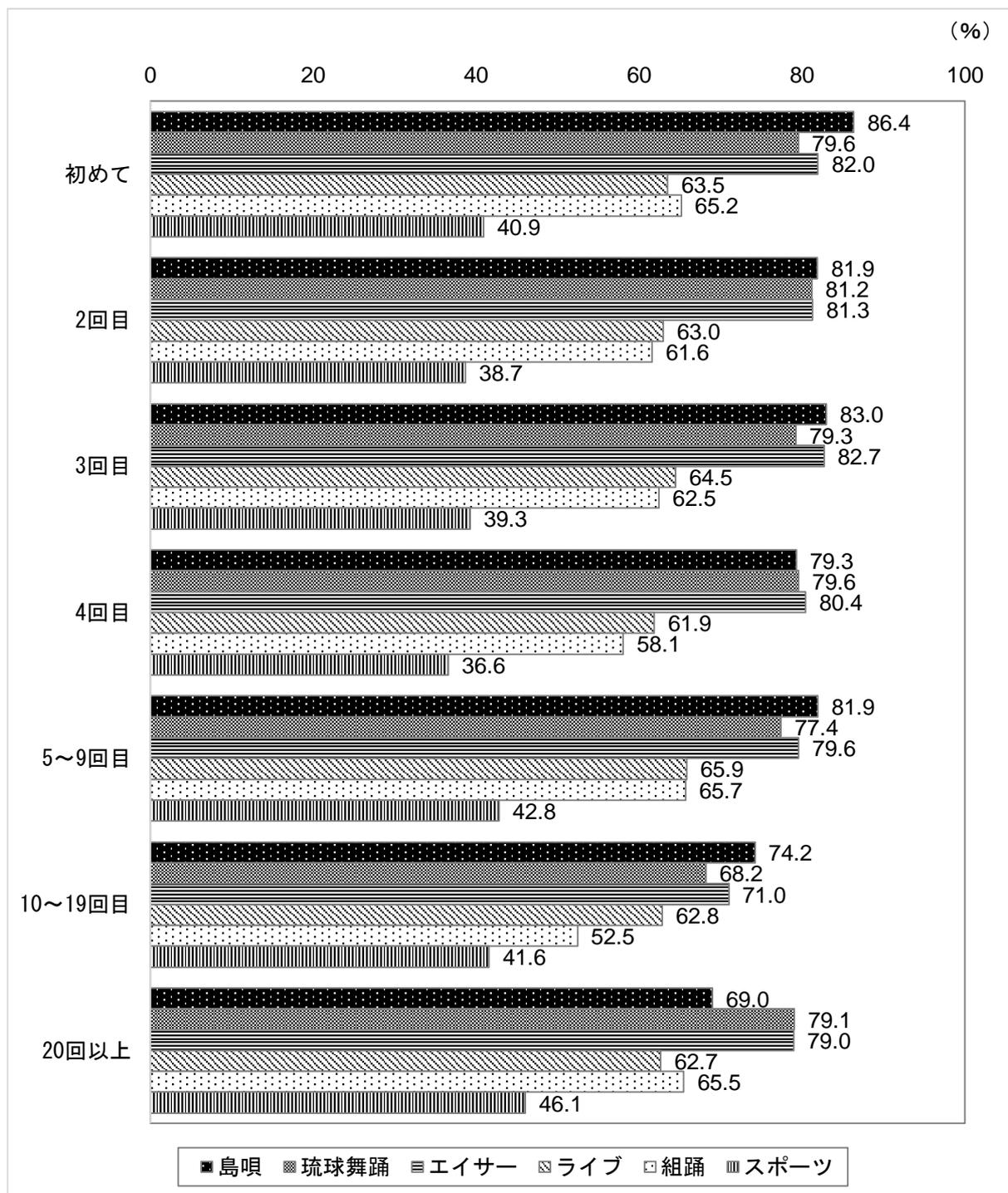
図表 5-6 エンターテイメントの体験意向（年代別）



エンターテイメントについて、“経験なし”（図表 5-1 の“経験なく興味あり”、“経験なく興味なし”）と回答した旅行者の中で、来訪回数別にどの程度“体験意向”（図表 5-1 の“経験なく興味あり”）があるのかを整理したものが図表 5-7 である。

『島唄』、『琉球舞踊』、『エイサー』は、全ての来訪回数で“体験意向”が高い傾向にあり、特に『島唄』は来訪回数が少ないほど“体験意向”が高い。

図表 5-7 エンターテイメントの体験意向（来訪回数別）

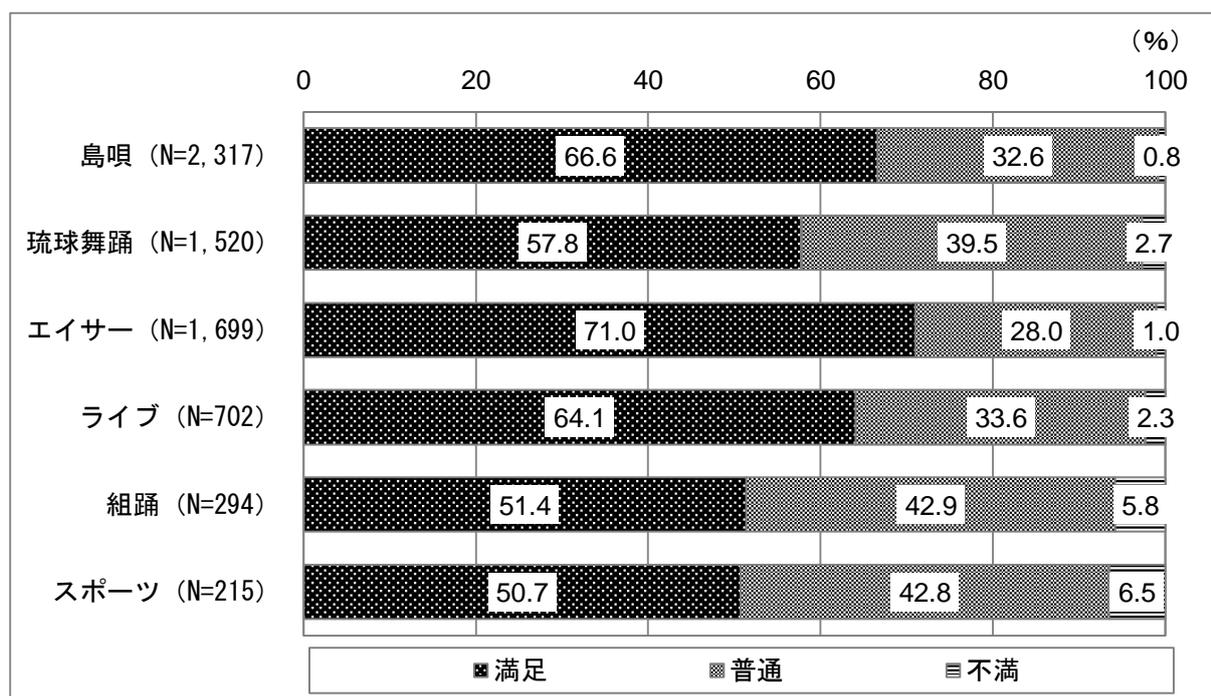


5-2. 満足度

エンターテイメントの経験者（図表 5-1 の“経験あり”）の満足度を見ると、最も満足度が高いのは「エイサー」71.0%、次いで「島唄」66.6%となった。

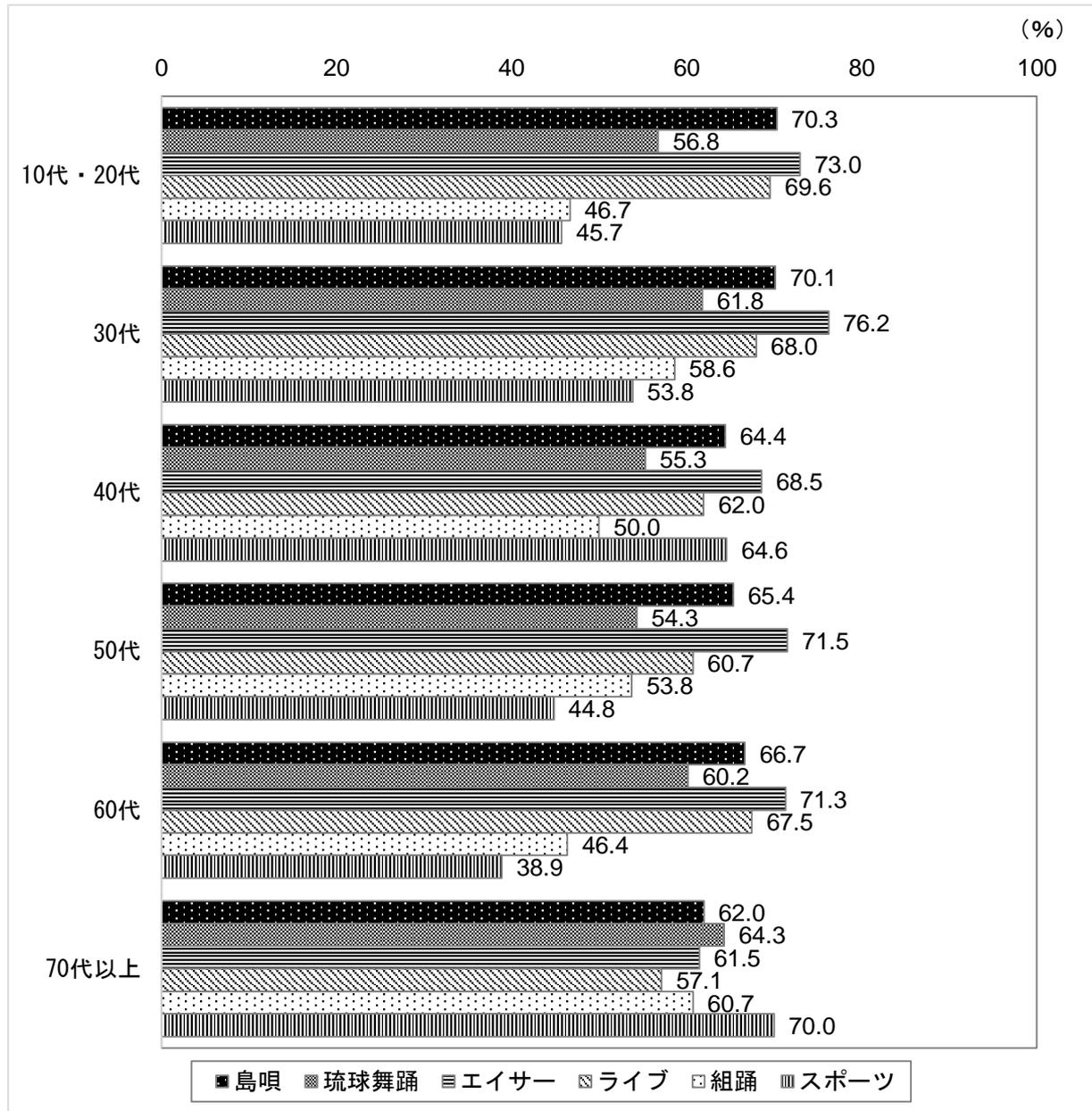
“経験率”では低位に留まった「ライブ」、「組踊」、「スポーツ」の満足度は、それぞれ5割を超えた。

図表 5-8 エンターテイメントの満足度



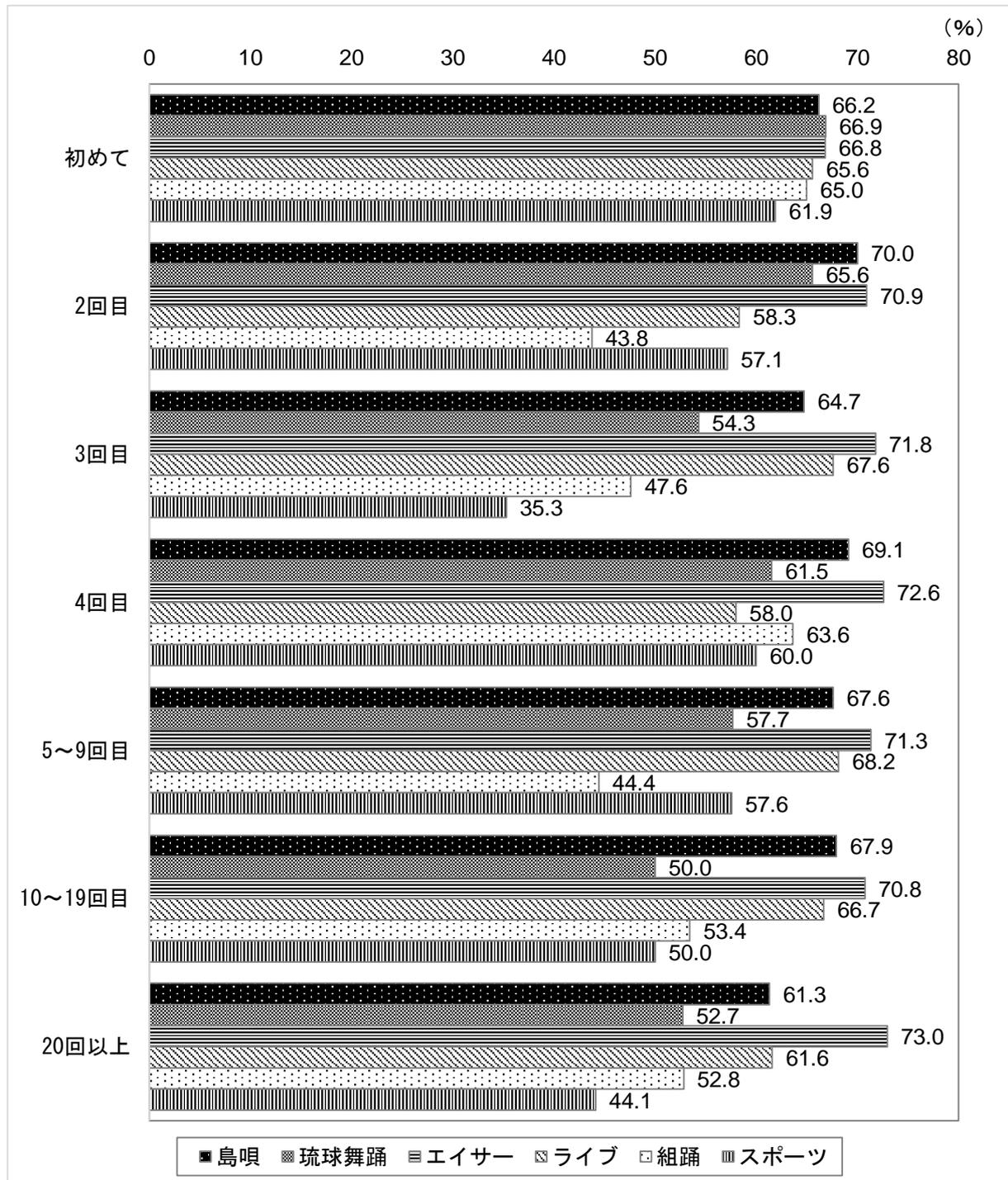
年代別に見ると、「70代以上」を除く全ての年代で『エイサー』の満足度が最も高い。

図表 5-9 エンターテインメントの満足度（年代別）



来訪回数別に見ると、「初めて」はどの項目においても比較的満足度が高い傾向にある。『エイサー』は、来訪回数に関わらず満足度の高いエンターテイメントとなっている。

図表 5-10 エンターテイメントの満足度（来訪回数別）

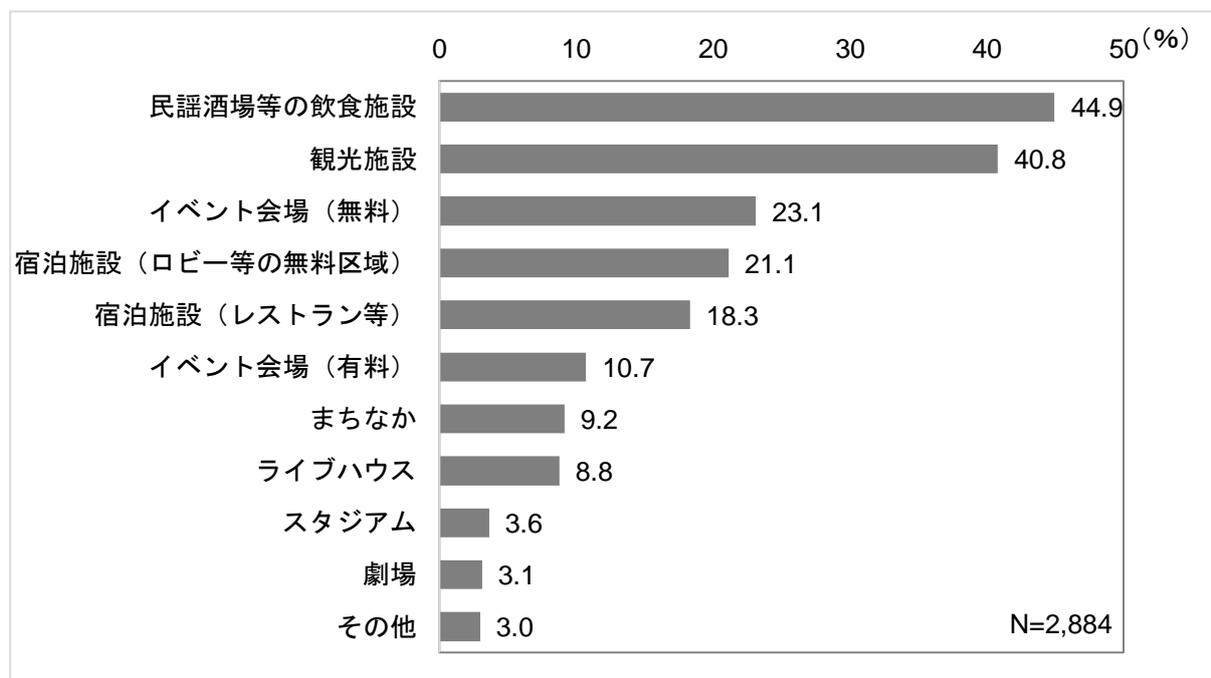


5-3. 鑑賞・体験場所

エンターテインメントの経験者（図表 5-1 の“経験あり”）の鑑賞・体験場所では、「民謡酒場等の飲食施設」が最も多く 44.9%、次いで「観光施設」40.8%となっている。「イベント会場」、「宿泊施設」では、有料場所に比べて無料場所での鑑賞・体験が多い。

来訪回数別に見ると、「初めて」、「2回目」、「3回目」においては、『観光施設』での鑑賞・体験が多い。『イベント会場（無料）』、『イベント会場（有料）』、『ライブハウス』、『劇場』といったエンターテインメントの鑑賞・体験を目的とする場所については、来訪回数が多いほど鑑賞・体験が多い。

図表 5-1 1 エンターテインメントの鑑賞・体験場所



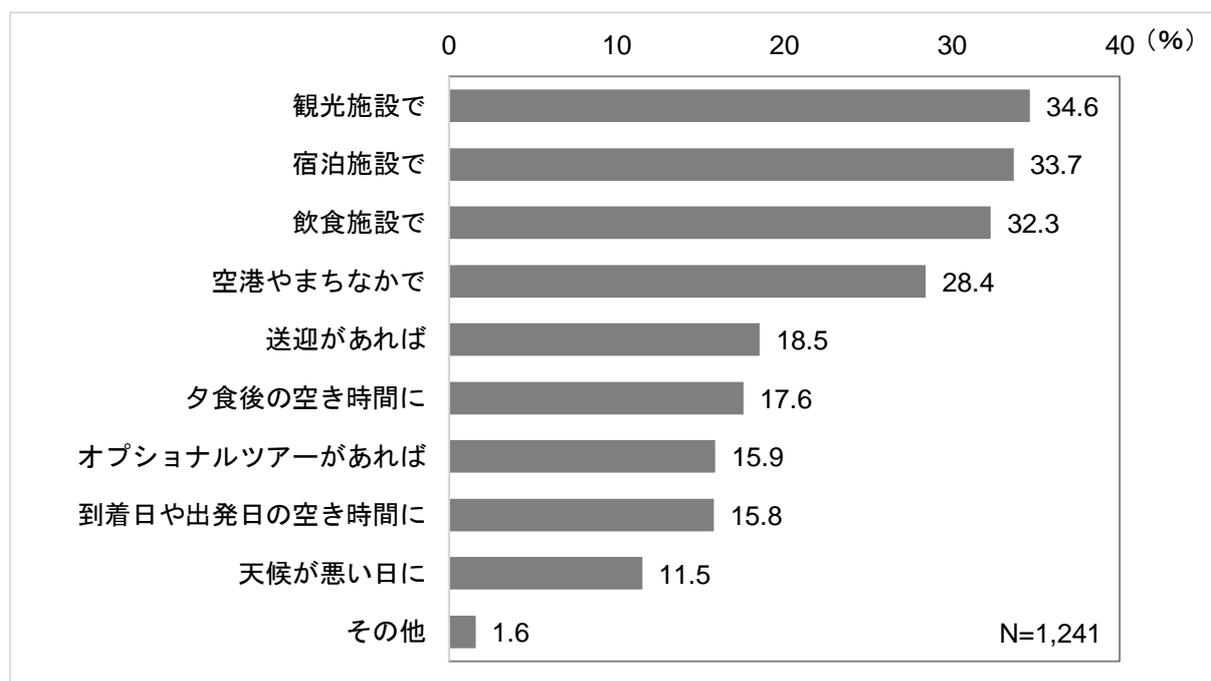
図表 5-1 2 エンターテインメントの鑑賞・体験場所（来訪回数別）

鑑賞・体験場所	(%)						
	初めて	2回目	3回目	4回目	5～9回目	10～19回目	20回目以上
民謡酒場等の飲食施設	39.7	35.3	36.0	38.6	49.4	53.7	57.4
観光施設	41.0	45.4	48.4	38.6	37.4	39.3	35.9
イベント会場（無料）	16.5	16.3	18.9	17.2	22.1	30.0	39.4
宿泊施設（ロビー等の無料区域）	17.8	20.6	18.6	24.0	22.9	23.3	20.7
宿泊施設（レストラン等）	12.7	15.6	17.4	20.6	22.7	19.1	18.7
イベント会場（有料）	4.8	9.4	8.1	8.2	9.0	14.7	20.9
まちなか	7.1	4.1	5.8	6.4	8.5	11.9	20.0
ライブハウス	1.8	1.4	5.5	5.6	9.0	15.0	22.4
スタジアム	3.3	2.5	1.3	0.0	2.7	5.9	9.0
劇場	0.3	0.9	0.8	0.4	2.2	5.7	11.2
その他	2.3	3.2	2.5	3.0	3.0	3.1	3.7

5-4. 希望する鑑賞・体験場所・状況

エンターテイメントに“体験意向”（図 5-1 の“経験はなく興味あり”）がある旅行者の希望する鑑賞・体験場所は、「観光施設で」が最も多く 34.6%、次いで「宿泊施設で」33.7%、「飲食施設で」32.3%となっている。「送迎があれば」、「夕食後の空き時間に」、「オプションツアーがあれば」といったエンターテイメントを希望する状況についての選択肢の比率は、低位に留まっている。

図表 5-13 希望する鑑賞・体験場所・状況*



*11月調査から選択肢を追加したため、11月調査および2月調査の結果のみ掲載

図表 5-14 希望する鑑賞・体験場所・状況（来訪回数別）*

	(%)						
	初めて	2回目	3回目	4回目	5~9回目	10~19回目	20回目以上
観光施設で	38.7	39.3	41.0	30.9	31.2	26.8	26.7
宿泊施設で	39.1	38.9	36.7	29.1	31.6	27.6	23.3
飲食施設で	27.7	33.9	31.9	37.3	31.6	36.6	31.7
空港やまちなかで	32.3	28.5	21.7	28.2	30.8	28.5	25.8
送迎があれば	22.1	20.1	16.9	20.0	15.4	15.4	19.2
夕食後の空き時間に	17.4	16.3	20.5	15.5	16.6	17.1	20.0
オプションツアーがあれば	16.6	17.2	20.5	10.9	15.4	15.4	11.7
到着日や出発日の空き時間に	15.7	13.8	13.9	15.5	17.0	13.8	21.7
天候が悪い日に	11.5	12.1	12.7	16.4	9.7	10.6	9.2
その他	2.1	0.4	0.6	1.8	0.8	4.1	3.3

*11月調査から選択肢を追加したため、11月調査および2月調査の結果のみ掲載

5-5. 今後に向けて

エンターテイメントの“経験率”は、「島唄」、「琉球舞踊」、「エイサー」が高い。初来訪者の“経験率”を見ると、「島唄」で約4割、「琉球舞踊」、「エイサー」で約3割となっており、県外客にとって代表的なエンターテイメントとなっている。満足度では、「エイサー」が最も高く、年代、来訪回数に関わらず満足度の高いエンターテイメントとなっている。

「島唄」、「琉球舞踊」、「エイサー」、「ライブ」、「組踊」、「スポーツ」のいずれのエンターテイメントも、来訪回数が増えるにつれて“経験率”は高まる。

「組踊」は、他のエンターテイメントと比較して“認知率”が低く、県外客に十分に知られていない状況がある。“経験率”が低い「ライブ」、「組踊」、「スポーツ」でも満足度は5割を超えていることから、今後に向けて、まずは“認知率”を高めていくことが必要である。

エンターテイメントの経験者は、「民謡酒場等の飲食施設」、「観光施設」での鑑賞・体験が多い。体験意向のある旅行者は、「観光施設で」、「宿泊施設で」、「飲食施設で」での鑑賞・体験を希望している。エンターテイメントを希望する状況についての項目の選択肢は低位に留まったことから、エンターテイメントを主目的に「体験したい」というよりも、「他の目的と合わせて体験・鑑賞したい」、もしくは「宿泊施設やまちなかで気軽に体験・鑑賞したい」という意向だと考えられる。特に認知率の低い『組踊』は、最初から「劇場」に足を運んでもらうのは難しいことから、まずは、観光施設やまちなかなどでの実演、また広報用ビデオ(PV)の上映等、県外客に広く知ってもらう機会を増やしていくことが必要と言える。

